大竹市監査公表 第4号

令和5年度工事監査の結果の報告に対し、当該結果に基づき講じた措置の内容について回答があったので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定により、別紙のとおり公表します。

令和6年7月5日

大竹市監査委員 薬師寺 基夫
大竹市監査委員 西村 一啓

別紙

令和5年度工事監査の結果に対する措置状況について

1 工事名及び担当課

- (1) 工事名：晴海臨海公園北側駐車場等整備工事（R5工区）
- (2) 担当課：建設部都市計画課

2 監査結果に対する措置状況の回答内容

【所見（指摘要望事項等）】

晴海臨海公園は、1年を通じてスポーツやイベント活動など、子どもから高齢者まで多くの方々が楽しめる場であるとともに、地域の交流拠点となる総合的な公園として、整備を進めている。

この度の工事は、西側エリア整備工事（第3期工事）の中間年の工事で、令和3年度、4年度においては、西側の歩道整備、幹線水路整備、5年度においては、外周の幹線道路、北側駐車場や舗装広場の一部整備、令和6年度、7年度においては、西側駐車場や、健康遊具の整備等を予定している。

最初に、事務調査を実施したが、契約等に関する事務については、入札は3社が応札したが、最低の価格で応札した株式会社三洋技建が調査基準価格を下回る金額の応札であったため調査を実施した結果、契約内容に適合した履行が可能であると判断し落札業者と決定したとのことであった。入札関係書類等監査した結果、概ね適正に処理されていると認められた。

次に、施工に関する事務について、工事従事者への安全管理対策については、朝礼、安全パトロール、KY活動等常に行っているとの説明であった。また、周辺住民に対しては、工事の事前説明としてお知らせ文書を回覧し、公園利用者に対しては、市のホームページに通路変更のお知らせ記事を掲載するとともに、土日祝日においては警備員を配置する等安全対策も行っているとの説明を受けた。

併せて現場監査も行ったが、現場事務所が手狭であり、多数の作業員等を集めての会議が開催できる余地がなかったため、(1)「安全会議」が開かれていなかった。定期的に安全会議を開催し、記録に残すよう助言した。会議に参加できなかった者にも指示事項等が確実に伝達されるよう、署名を求める方法等により、周知されたい。

また、(2)「施工体制体系図」は工事関係者や市民等が見やすい場所に掲示しなければならないが、表示が小さく、市道からは判読できない事から、拡大して表示するよう指導した。

「緊急連絡体制図」については、掲示がなかったため、掲示するよう指導した。

安全管理に関する記録類（朝礼、作業指示書・安全日誌、安全パトロール実施報告書、新規入場者・安全衛生教育、KY活動表）はきちんと保管され、整理されていた。ただし、(3) 作業指示書・安全日誌の統括安全衛生責任者等の印は元々印刷されているように見受けられたため、確認の都度押印されたい。

(4) 防護柵については、市道と工事現場との間には植栽等の緩衝帯があり設けられていなかったが、工事現場に簡単に入り込めるため、対策を講じられたい。

【措置状況（令和6年6月6日付回答）】

この度の工事監査における指摘事項を踏まえ、今後発注する工事においては適正に事務処理を行うとともに、安全管理体制を確保し施工管理します。

(1) 「安全会議」の開催と周知について

「安全会議」を定期開催するとともに、現場作業員と記録の情報共有をするように指導します。

(2) 「施工体制体系図」、「緊急連絡体制図」の表示について

工事関係者や市民等が見やすいように工夫して掲示するように指導します。

(3) 安全管理に関する記録の確認について

作業指示書及び安全日誌は、責任者が常時確認するように指導します。

(4) 防護柵の設置について

工事現場に容易に立ち入れそうな箇所には、バリケードを設置する対策を講じます。